

正覚寺だより

スジャー夕

52

平成24年(2012)

7月1日発行

【スジャー夕とは、6年間の苦行に疲れたお釈迦様に牛乳で作ったお粥を供養したインドの女性の名前である】

法然共生

五重相伝のご案内

お盆の行事



境内に咲いた蓮の花

[住職のつぶやき]

先代住職のこと

— お礼のことば —



[住職のつぶやき]

先代住職のこと

— お礼のことば —

住職／山縣 正紀



(1)

去る1月20日、師父である正覚寺先代住職の本葬には、沢山の檀家の皆さまがお参り下さり、誠に有り難うございました。

自室で転倒、骨折を契機とする半年ほどの患いでした。からだ全体の機能が次第に低下してゆき、私達が念仏を称える中で静かに89年の天寿を^{まっ}全うしました。

在命中は、皆さまに大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

(2)

先代は大学卒業後、特攻隊員として海軍の飛行機に乗っていたが、天候不順などで何度か出撃が遅れるうちに終戦を迎えました。そしてその後、間もなく正覚寺の法灯を継ぎ住職に就任しました。

しかし当時の呉市街地は、すべて戦災後の焼け野が原で、正覚寺も例外ではなく、本堂はむろん^{くり}庫裡も何もない状況でした。

そんな中で先代の仕事は、まず^{がれき}瓦礫を

片づける事から始まった。檀家の方々も同様に焼け出され、市外へ転出された方も多いので、正覚寺再建には想像以上の苦労があった事と思う。

一つの寺院を復興再建したという功績に対して、後に浄土宗から、「^{ちゅうこう}中興」という称号を贈られました。

先代は当時、中学校の先生をしていたが、正覚寺復興に全力投球するために3年ほどで退職しています。

建物の再建と日々の寺院活動をしながら、現在の正覚寺の基礎と原型を造ったのが先代住職であり、それを陰で支えた母でありました。

(3)

私はその苦労を、多少は見ながら育ったわけだが、その間に、私の兄は小さい時に亡くなっています。また、幼稚園の先生をしていた妹も23才で亡くなった。

両親にとっては、3人の子供のうち、長男そして長女を亡くしたわけです。

長い人生には、辛いことや悲しいことが沢山あるけれど、そんな中で我が子に先立たれることは、最も辛く悲しいことのひとつではないでしょうか。子供の中で一人残った私は、何の親孝行も出来ないけれど、「せめて親よりは、長生きしないといけな

い」

と思ったことです。

昨年の母、今年は父と続きました。しかし、それぞれの命終の時を念仏を称える中で看取ることが出来た。

西方極楽浄土で再会した時に、詫びなければならないことも沢山あるけれど、「せめて親よりは、長生きしてやろう」という、その思いだけは果たせました。

(4)

後に残った私達も、先代住職の意思をついで精進してゆくつもりです。

現在の正覚寺は、戦後の区画整理で境内地が随分と狭くなった。しかし何度も増改築、補修改修を重ね、決して充分ではない

けれど、コンパクトに必要な建物が整いました。

だが望むことは、境内を整備し立派な建物の寺院にしてゆくことではありません。

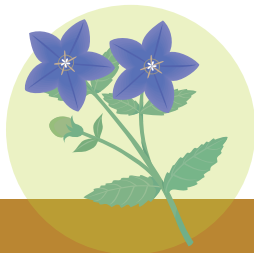
整った正覚寺が、念仏信仰の道場として檀家の皆さまの心の支え、拠り所になることが大切なことでもあります。

皆さんが来られた時、心の安らぎを感じて頂けるような正覚寺と住職、そして寺族（寺に住む住職家族のこと）でなければならない。

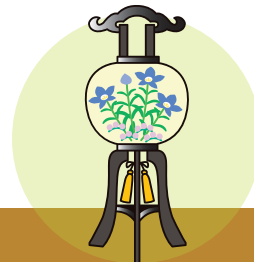
誠に小さな力だが、毎月の法要や年間の各種行事、5年に一度の五重相伝などを通して、これからも努力してまいります。

今後とも、ご協力やご助言をよろしくお願い申し上げます。





お盆の行事



どうぞお参り下さい

お盆をむかえる

たな ぎょう ほう よう
棚経法要

7月22日(日)

■ 朝9時から11時まで

同封の水色の回向袋え こうぶくろに棚経回向ご希望の戒名をご記入の上、当日ご持参下されば回向した後、「棚経回向之證」をお渡しいたします。

それぞれの家庭の仏壇に祀って、お盆をお迎え下さい。



感謝の気持ちで

せ が き え
施餓鬼会

8月15日(水)

■ 朝9時から11時まで



同封の黄色の回向袋に塔婆回向ご希望の戒名をご記入して、当日ご持参下さい。塔婆とうばに書きかえてご回向致します。

自筆コーナー

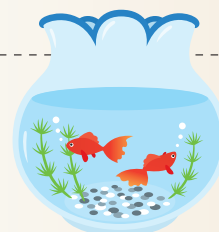
待ち時間が長くなるので、戒名を塔婆へ自分で書かれても結構です。

玄関前に筆ペンを用意して自筆コーナーを設けていますからご利用下さい。



ボランティア募集中

書道経験者の方々、ご協力をお願いできませんか？
最近では毛筆を使われる方が少なくなって困っております。よろしくお願い致します。



初盆を迎える方 7月15日までにご連絡下さい

- 市内で特に希望される家にはお参り致します。また、正覚寺で行うことも出来ます。
- ご希望の方は7月15日までにご連絡下さい。その後、お参りする日時を決めて、お知らせ致します。
- 棚経法要（7 / 22）、施餓鬼会（8 / 15）には、回向袋の初盆に○印をつけてお参り下さい。

■ 昨年の回向之證はどうする？

- 昨年の「棚経回向之證」がまだ仏壇にある方は、当日ご持参下さい。
- 後日まとめて浄火供養（焼却）いたします。

■ 駐車場について

- 例年のように確保できるか、直前にならないと分かりませんが、総代、青年会の方々が炎天下にボランティアで係をさせていただきます。恐れ入りますがその指示に従って下さい。

極楽に咲く花・・・蓮華・・・

数年前からお盆の頃、境内に美しく蓮の花が咲いている事にお気づきの方もいるかと思えます。

咲かせるためには、鉢の土の入れ替えから始まり中々手間の掛かることですが、西畑の田中久夫さんが、ずっとそのお世話をさせていただきます。寒い頃から正覚寺へ時々来て、その生育を見守って下さるお陰で開花することです。

何ヵ月も手塩に掛けて、咲くのは僅か3日間程です。今年も、大きく見事に咲くことと楽しみにしています。



住職のエッセイ集

「春夏秋冬 - 降ってよし 照ってよし - 」

幾たびか春夏秋冬を繰り返す、その中で時々感じたことを「スジャータ」に書いてきました。この度、書き下ろしも含めて一冊にまとめ、法然上人800年大遠忌記念として発刊いたします。

8月15日の盆施餓鬼会に参詣された時に、お渡しいたしますので、どうぞお参り下さい。

また、当日お参り出来なくても、ご希望の方にはお送りいたします。その旨ご連絡下さい。



法然上人 800 年大遠忌法要つとまる

・・・去る5月20日(日)・・・

新緑の爽やかな一日、法然上人へ感謝報恩の気持ちで盛大な法要を勤める事が出来ました。

講師には、神戸から日下部謙旨師を迎え、「法然上人に学ぶ ― おおらかに申す ―」と題して、とても分かりやすい法話を頂きました。

正覚寺ではいつの法要にも、本堂に入りきれないほど大勢の方々がお参り下さいます。

この度も、みんなでお念仏を称え、とても有り難い一日になりました。



800 年大遠忌募財のお礼

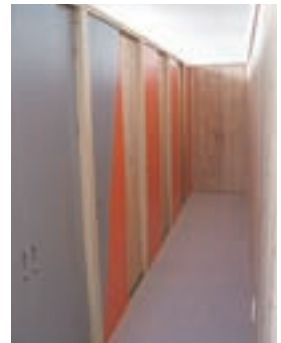
この度の募財には、多額のご協力を頂き誠に有り難うございます。お陰さまで、境内建物内外の整備も無事に終了し、大遠忌の法要も滞りなく勤めることが出来ました。



トイレの外観
〈旧〉



トイレの外観
〈新〉



トイレの内観
〈新〉

また頂いた募財の一部は、今年着工し8年間を要する、総本山知恩院国宝大殿の解体修理の為に寄進させて頂きました。皆さまのお名前は、葺き替える瓦に浄書して後世に伝えてまいります。

現在、分納中の方、まだこれから納めて下さる方々には、今後ともよろしくお願い申し上げます。

正覚寺として大遠忌の事業がすべて終わりましたら、決算報告もさせて頂きます。誠に有り難うございました。



感謝録

Blank space for writing thank-you letters, divided into two sections by a horizontal line.



このたび皆さまには、法然上人 800 年大遠忌の募財をお願いいたしましたが、上記の山下さん、平江さんからは、更にこの様なご厚志を頂きました。心よりお礼申し上げます。

5年ぶりの短期集中 仏教講座

五重相伝

来年秋に開催!!

平成 25 年 10 月 23 日(水)から 27 日(日)まで 5 日間

仏教、そして浄土宗の教えを、初めての方でも分かっていただけるように、親しみやすく順序立てて説明してゆく講座です。そのために 5 日間を要します。

その間、一緒にお経を読んだり、お念仏を称えたりもします。そして修了者には、剃髪けさの作法をして袈裟かいみょうや戒名を授与いたします。

来秋のことですが、早めにお知らせしますので、予定に入れていただき是非ご参加下さい。

五重相伝の戒名について

浄土宗の戒名は本来、亡くなってから贈るものではありません。元気な時に五重相伝に参加して授かるものです。

もちろん五重相伝に参加した経験のない方でも亡き後、追善の気持ちから戒名を贈ります。

しかし五重相伝ではそれとは違う、念仏信仰をもった証あかしとして「よごう誉号」のついた戒名を授与いたします。



■ 秋の法要ご案内

あき ひ がん え
秋 彼岸 会

9月22日(祝)
■ 朝10時より

じゅう や ほう よう
十 夜 法 要
えい たい きょう く よう
永代経供養

11月11日(日)
■ 朝10時より

秋の参拝旅行 ご案内

－ 香川県・法然寺と芸術の直島 －

10月22日(月)から1泊2日

法然上人が晩年しばらく滞在された法然寺（木造の大きな涅槃像でも有名）と、ほかに縁のある2カ寺へお参りします。

直島では、普段あまり目にする事のない現代美術や斬新な建築物などをゆっくり楽しむ予定です。

昨年とは、またひと味違った参拝旅行になると思いますので、同封の案内状をご覧のうえ、どうぞご参加下さい。



あ と が き

- 盆前の大掃除を6月1日に行いました。今年も、大勢の方々が参加して下さいのおかげで、普段、中々行き届かない所まで随分綺麗になりました。ありがとうございます。
- 転勤、住まいの新築などで住所変更された時は、正覚寺へ必ずご連絡下さい。
- ご兄弟、ご親戚などで「法要の案内状」や「スジャータ」など、必要な方は遠慮なくお知らせ下さい。お送りいたします。
- 反面、もし必要の無い方に届いておりましたら、こちらも遠慮無くご連絡下さい。送ることを差し控えさせていただきます。
- 住職が、趣味で描いている絵のグループ展「互楽会展」は11月2日(金)から3日間、いつものように呉市文化ホール2階で開催します。どうぞお立ち寄り下さい、もちろん入場無料です。



発行所／〒737-0033 呉市寺本町 2-1 浄土宗 正覚寺
でんわ／0823-21-6086 FAX／0823-22-9922